

茂庭台社協だより

第 42 号

発行
茂庭台地区社会福祉協議会

発行日 令和6年3月31日

孤独は街中に…………。



茂庭台地区社会福祉協議会

会長 大 泉 利 見

アフターコロナ元年の今年、人々の生活様も社協の活動も大きく変化したように思われます。茂庭台社協の主な活動状況は下段に要約記載しましたが、4人の役員と15人の福祉委員が協力し、充実した活動が出来たのではないかと考えています。

過日、ある一人暮らしの男性から「この3日間、テレビの音以外誰とも話しをしていないんです」と言われたことがありました。高齢者の中には健康問題等いろいろな不安を抱えている人も少なくないと思いますが、その中の一つに孤独や孤立に対する不安を抱えながら生きている人もいらっしゃるのではないのでしょうか。深山幽谷のポツンと一軒家に住んで、いきいきと一人暮らしをしている人もいる反面、壁の向こうから生活音が漏れて来そうな街中に住む私たちの回りに、肩をすぼめるように孤独と向き合いながら生きている人がいる現実。そのような人たちのために私たち社協に何ができるのか、試行・模索を繰り返しながら微力ではあるが決して無力ではないと信じ、地域福祉の向上のために活動して参ります。

5年度前期活動状況

安否確認活動 & 生活支援活動状況 (4月～9月分)

安否確認内容 (件数)					生活支援内容 (件数)			
訪問	電話	見守	他	計	家事支援	外出支援	その他	計
659	63	89	24	835	119	11	13	143

※家事支援は全てゴミ出し。外出支援は病院、買い物他。その他は体操指導、文書作成他。

ふれあいサロン開催状況 (7月～12月分)

月	内 容	参加者数	月	内 容	参加者数
7月	健康クイズ大会と茶話会	26	12月	ハートフルコンサート	21
9月	料理講習会	17	2月	八重山民謡鑑賞	23
10月	移動ふれあいサロン	31	3月	ゲームと茶話会	18
11月	特殊詐欺防止セミナー	42	計		178



10月 移動ふれあいサロン



今後の予定

4月21日 令和6年度総会
5月14日 福祉委員研修会
6月12日 情報交換会
7月18日 ふれあいサロン
8月 8日 ふれあいサロン
9月18日 ふれあいサロン

新装なった仙台市天文台とニッカウヰスキー工場、地底の森ミュージアムを見学。久しぶりで遠足気分を味わいました。

11月

特殊詐欺防止セミナー



南警察署の専門官をお迎えし、包括支援センターと共催で特殊詐欺防止セミナーを開催。高齢者にとっては必修科目です。

12月

ハートフルコンサート



バイオリンとビオラの弦楽二重奏を中心に、楽しいひと時を過ごす。皆で懐かしい歌を歌い、終わった時はスッキリ気分爽快でした。

2月

八重山民謡鑑賞



沖縄県八重山群島に伝わる民謡を、伝承者山田たかね氏をお招きし鑑賞。ほんのちょっとだけ南国風情に接した気分になりました。

3月

ゲーム&茶話会



童心回帰の輪投げとボーリングを楽しむ。僅かですが景品も用意。後は皆でゆっくりお茶しました。

福祉委員点描

ダイア町内会福祉委員

鈴木 峯代



福祉委員を始めてから一年がたちました。最初の訪問はとても緊張いたしました。でも皆さん心よく話を聞いてくださいました。ホッとしたことを思い出します。

「ふれあいサロン」のお誘い、楽しみにして待っていた方もいらっしゃる、「ちょっと？」とお断りされた方もいらっしゃいます。でも「ふれあいサロン」に出席いただいた方に「楽しかった、また声がけてね」と言っていたいた時にはとても嬉しかったことを憶えています。毎月一回の「ふれあいサロン」、なかなかお会いできずそれでも訪問して、お話しできた時は安心しました。体調悪い方のお手伝い、皆さんとのお話、少しずつ慣れてきました。「ふれあいサロン」の茶話会、料理教室、ハートフルコンサート等ありましたが、一番思い出深いのは天文台（プラネタリウム）、ニッカウキスキー、牛タンの利休での昼食会、バスに乗って小学生の遠足のようなでした。

まだまだ未熟な福祉委員ですが、1人暮らしの方々とふれあい、お役に立つようこれからも活動してまいりたいと思います。

理事会開催

2月3日と3月2日の両日、令和5年度の理事会を開催しました。8人の理事と4人の社協役員が出席し、社協の現況や課題等についての情報交換や会則改正案等について協議しました。特に会則改正案については真剣な協議が行われ、1回で終了予定の理事会が2回にわたり開催されました。提案された貴重なご意見については役員会で誠実に検討し、次年度の総会に上程することです承されました。

能登半島地震募金

正月の元日、衝撃的なニュースが飛び込んできました。震度7の地震が能登半島を襲い、災害関連死を含め150名以上の方が亡くなり、7万棟に迫る家屋が被害を受けました。これから被災者の皆さんにどんな大変な生活が待っているかを思う時、心が締め付けられる思いがします。茂庭台社協としては何もできませんが、区の社協を通じ日本赤十字社宮城県支部に対し、僅かばかりではありますが一万円の募金をさせて頂きました。能登の皆さんが一日も早く日常の生活を取り戻せることを心よりお祈り申し上げます。